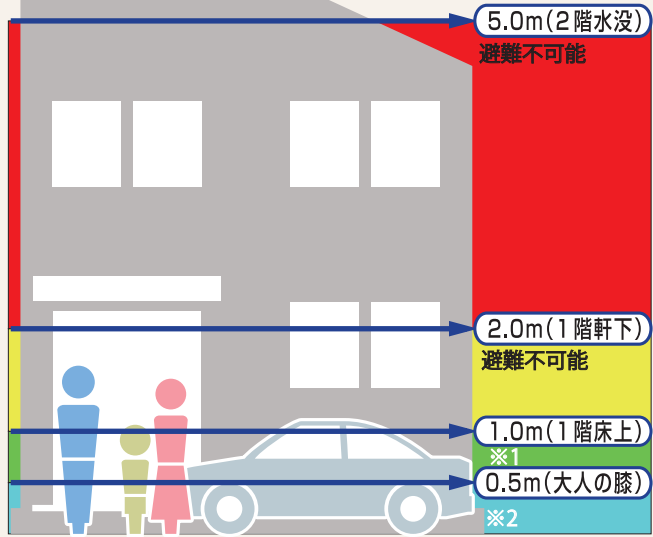


軽井沢池ハザードマップ

浸水想定区域図

想定浸水深さの目安



※1 水深1.0m以下、流速が0.5m/秒を超えると避難不可能
※2 水深0.5m以下、流速が1.5m/秒を超えると避難不可能

× 想定破堤点

..... 歩行可能
..... 歩行不可能

..... 氾濫水の到達時間
..... 氾濫水の流速

地図の凡例

- 広域避難所
- 一次避難所
- 臨時ヘリポート
- 学校・幼稚園等
- 救護所
- 防災関連機関
- 県道・主要地方道
- 避難方向
- 丹那断層(推定されているライン)

土砂災害の凡例

- がけ崩れ・土石流特別警戒区域
- がけ崩れ警戒区域
- 土石流警戒区域

避難の心得

- ◎家の2階や、付近の高台へ避難!!
- ◎地震発生時や、大雨時には河川に近づかない!!

屋内での避難

浸水が始まり、外に出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の2階以上に避難し、水が引くのを待ちましょう。



丹那区

農村環境改善センター

消防団第2分団詰所

丹那駐在所

西方集会所

酪農王国
オラツチェ

名賀集会所

丹那幼稚園

丹那小学校

丹那小学校グラウンド

柿沢川

畑区公民館

1 : 4,500

0 100 200 300 m

※このハザードマップは、軽井沢池が満水状態で決壊した場合に想定される浸水被害範囲を示したものです。

軽井沢池ハザードマップ

- 大雨が降り続いたり、大規模な地震が発生したりしたとき、ため池が決壊するおそれがあります。
- このハザードマップは、万が一のため池の決壊に備えて、ため池の近くにお住いの皆さんが、いち早く避難するための情報を示しています。
- ふだんからご家族や地域の方々と避難について話し合い、いざという時に備えましょう。
- 函南町防災マップと一緒に活用しましょう。

ため池はどのような時に決壊するのか？

ため池の決壊は主に豪雨、地震により引き起こされます。

しかし、個別のため池がどのような状態になれば決壊するのかはわかりません。

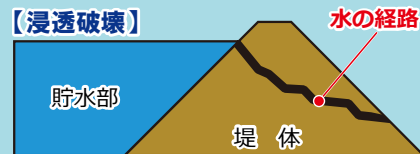
そのため、気象情報を入手し、早めの避難を心がけましょう。

●豪雨

ため池の豪雨による災害は、台風や活発化した梅雨前線などがもたらす豪雨により発生します。近年では局所的な集中豪雨も注意が必要です。

原因として最も多いと考えられるのは「浸透破壊」です。

経年変化でため池の堤体内に浸透する水の経路が生まれます。豪雨で貯水位が急上昇すると、堤体内の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。



●地震

ため池の決壊は、地震の揺れを原因として一気に起こることもあれば、地震の揺れで弱くなった堤体が少しずつ壊れていき、しばらく時間が経過してから起こることもあります。

軽井沢池の近くには、活断層の丹那断層（北伊豆断層帯）があり、1930年11月26日に北伊豆地震（マグニチュード7.3）が発生しています。

また、静岡県で実施している「静岡県第4次地震被害想定」では、相模トラフ沿いで発生する大地震（元禄型関東地震）によって、軽井沢池の地点では、最大震度6強が想定されています。

気象情報と雨の降り方に注意しましょう

雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
状況	雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを早くしても見づらくなり、側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

情報の入手先

気象庁
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
静岡地方気象台
<http://www.jma-net.go.jp/shizuoka/>
静岡県サイボスレーダー
＜インターネットから＞
<http://sipos.shizuoka2.jp/>
＜携帯電話から＞
<http://sipos.shizuoka2.jp/m/>
こちらのQRコードからもご利用できます。



日ごろから避難の準備をしましょう

●どこへ逃げるか確認しましょう

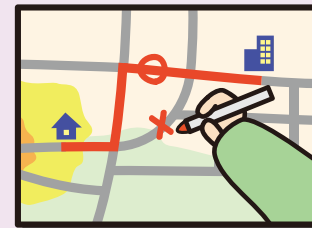
Step 1

ハザードマップを見てあなたの家を探し、周辺の浸水箇所や土砂災害の危険箇所などの状況を確認して、地図に記入しましょう。



Step 2

あなたの家の避難場所と避難経路を選択しましょう。



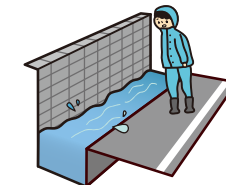
Step 3

あなたが地図上で選択した避難経路を実際歩いて、安全であるか確認しましょう。避難時の危険箇所を確認しましょう。



路上には、いろいろな危険が潜んでいます。注意すべき場所を日頃から確認しておきましょう。

水路の周辺



水路にはガードレールの柵がない場合があります。浸水時には、水路の場所が判らず誤って流される危険があります。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域

大雨や地震によって、がけ崩れや土石流が発生するおそれがある場所が「土砂災害警戒区域」で、大雨や地震時に近づくのは危険です。この近くに住宅がある場合には、「**早めの避難！**」を心がけましょう。



避難に関する情報

●避難情報を聞いたら逃げましょう

避難準備・高齢者等避難開始

避難の準備を始めましょう

お年寄りや身体の不自由な方など、避難に時間を要する方は避難を開始してください。その他の方は避難の準備を整えてください。

避難勧告

避難を始めましょう

速やかに避難を開始してください。外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。

避難指示(緊急)

ただちに避難してください!!

指示を受けた方は、ただちに避難してください。外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。

避難情報はテレビ、ラジオ等を通じて町民のみなさんに伝えられます

防災行政無線、広報車、サイレン、携帯電話緊急速報メール、町のホームページなど



屋内での避難

浸水が始まり、外に出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の2階以上に避難し、水が引くのを待ちましょう。



軽井沢池ハザードマップに関するお問い合わせ
函南町役場 建設経済部 産業振興課
TEL 055-979-8113

平成31年3月作成